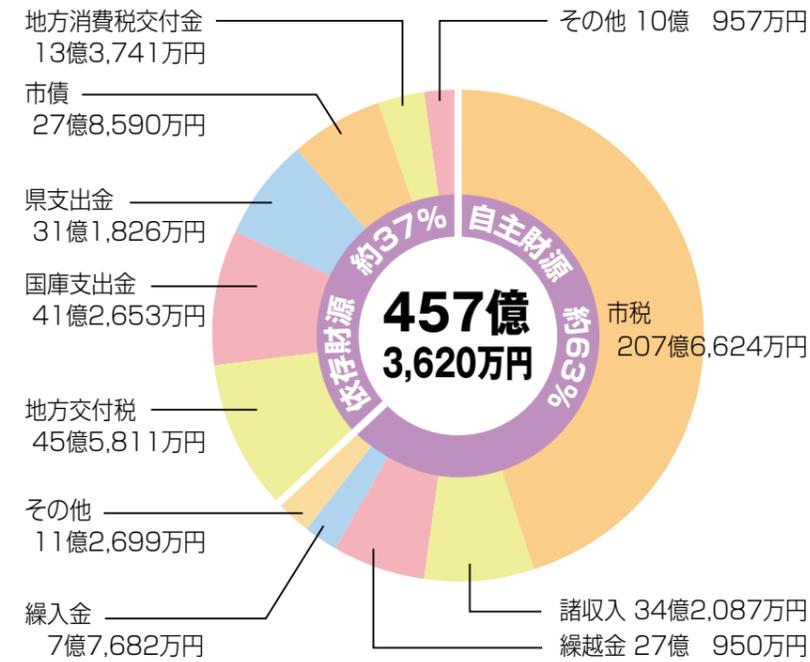


平成25年度に市民の皆さんに納めていただいた税金は、より良い市民生活を実現するために、さまざまな形で活用しました。税金の使い道などを市民の皆さんに知っていただくために、毎年2回市の財政状況を公表しています。今回は、平成25年度決算をお知らせします。

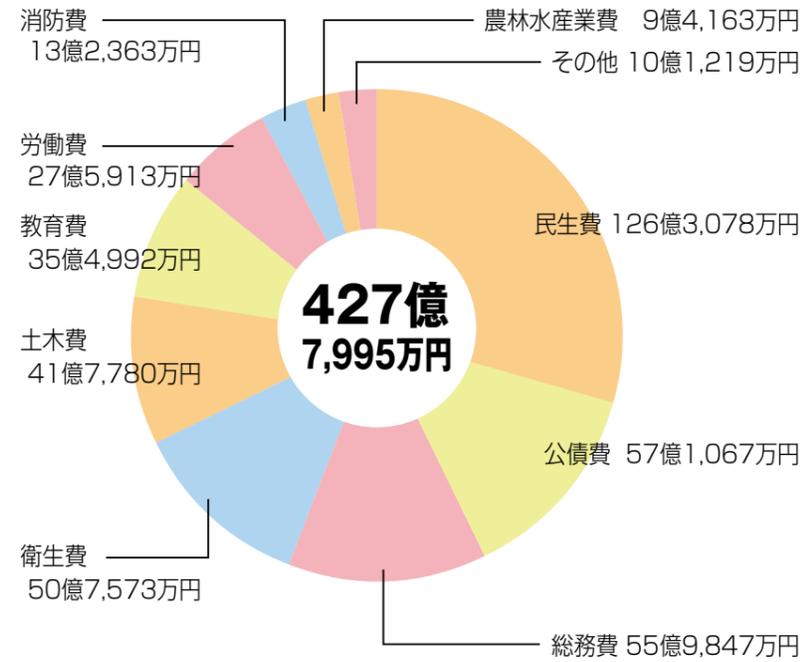
◎財政課 ☎643・3234

一般会計決算額

歳入



歳出



〈財政用語解説〉

歳入

自主財源 市税や市の施設の使用料など、市が独自で調達できるお金

【市税】市民税や固定資産税など、市民の皆さんが納めた税金

【諸収入】貸付金の元利収入など
【繰越金】前年度から本年度に繰り越されたお金

【繰入金】各種基金から特定の事業のために取り崩したお金

【その他】公共施設の使用料、各種手数料、財産収入、寄附金など

依存財源 地方交付税や国・県支出金など、国や県から市に入ってくるお金

【地方交付税】地方の財政格差をなくし、公平な公共サービスを提供するため、国から交付されるお金

【国庫支出金・県支出金】市の特定の事業に対し、財源の一部として国や県が支出するお金

【市債】道路や公共施設を整備するために、国や銀行から長期にわたって借り入れるお金

【地方消費税交付金】消費税5%のうち1%が地方消費税で、一定の基準により国から配分されるお金

【その他】地方譲与税、地方特例交付金、自動車取得税交付金など

歳出

【民生費】高齢者福祉や障害福祉、児童福祉などの経費

【公債費】市の借金などの返済経費

【総務費】総務管理や企画・税務事務などの経費

【衛生費】ごみ、し尿処理、予防接種、健康診断などの経費

【土木費】道路や公園の施設整備・維持管理などの経費

【教育費】学校や公民館などの改築・維持管理などの経費

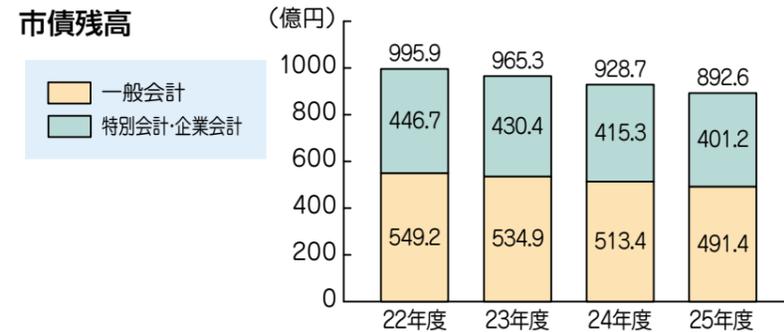
【労働費】労働対策などの経費

【消防費】消火・救急活動などの経費

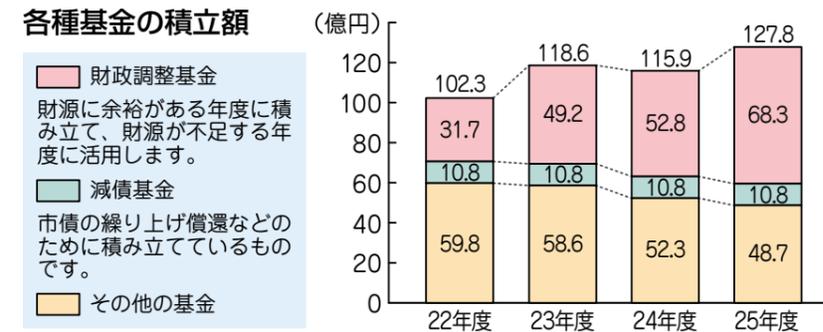
【農林水産業費】農林業の振興などの経費

【その他】議会費、商工費、諸支出金、災害復旧費など

市債残高



各種基金の積立額



歳出は、平成24年度より約5億円増
歳出(市の支出)は、平成24年度と比べて全体で約5億円増加。主な要因としては、認定ごも園整備への助成などで約4億円増加したことが挙げられます。

合併以降、市債(借金)残高は5年連続で減少
道路整備などのために借りたお金の残高は5年連続で減少。平成27年度末までにすべての会計における市債残高の合計を平成22年度末から約6・9%、金額で約69億円減らすという目標を、2年前倒しで達成しました。

歳入は、平成24年度より約8億円増
歳入(市の収入)は、平成24年度と比べて全体で約8億円増加。主な要因としては、固定資産税が増えたことなどにより市税が約3億円増えたことが挙げられます。また、国からの地方交付税や国庫支出金が約2億円減ったものの、県からの支出金が約4億円増えました。

効果的な事業展開に向け、基金(貯金)を活用
市の事業を効果的・効率的に進めていくために、いくつかの基金を積み立てています。平成25年度は、市民会館のリニューアル整備に「総合文化施設整備基金」を、総合運動公園野球場の整備に「総合運動施設整備基金」を活用しました。

特定の事業を行うために、一般会計とは別に収支を行う「特別会計」と、独立採算が原則で自らの収入だけで経理を賄う「公営企業会計」の状況をお知らせします。

特別会計決算額

国民健康保険や介護保険といった制度に伴う事業や、公共下水道および農山村地域の生活排水処理などの特定の事業を行うための会計です。

特別会計	収入額	備考
	支出額	
国民健康保険事業	146億4,987万円	医療費の支払いなど
	146億 497万円	
簡易水道事業	3,163万円	岡部地区の水道タンクの遠隔監視装置の改修など
	3,163万円	
土地取得	4,110万円	岡部宿内野本陣用地の一般会計への売り払いなど
	4,110万円	
公共下水道事業	30億3,455万円	浄化センターの施設整備など
	30億3,260万円	
駐車場事業	2,720万円	駅前駐車場の維持管理費など
	2,368万円	
農業集落排水事業	8,474万円	農山村地域の施設の維持管理費など
	8,474万円	
介護保険	95億2,791万円	被保険者へのサービス実施など
	95億 798万円	
後期高齢者医療	13億4,322万円	広域連合への保険料の支払いなど
	13億4,136万円	

公営企業会計決算額

市では病院事業と水道事業で、民間企業に準じた会計の方法を採っています。事業収支が収益状況を表し、この差し引きがいわゆる黒字・赤字といわれます。資本的収支とは、収益以外の収入と支出のことで、施設の整備や借入金の返済などです。

■ 病院事業会計

区分	決算額	備考
病院事業収益	141億6,970万円	診療に必要な医師や看護師などの人件費、薬の購入費など
病院事業費用	140億8,375万円	
資本的収入	10億8,919万円	救急センターの建設、医療機器の購入や借入金の返済など
資本的支出	16億8,492万円	

■ 水道事業会計

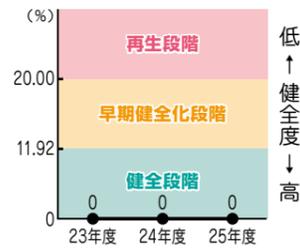
区分	決算額	備考
水道事業収益	23億3,981万円	上水道供給のための施設維持管理の経費など
水道事業費用	21億 311万円	
資本的収入	4億 537万円	水道管の耐震化工事や借入金の返済など
資本的支出	11億8,786万円	

藤枝市の財政状況

本市の財政状況を、地方公共団体の財政状況を判断する5つの指標でみると、いずれの項目も早期に改善しなければならぬ基準を下回り、**健全な状態**です。直近3年間の状況をお知らせします。

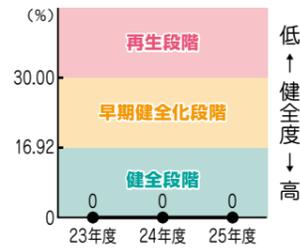
① 実質赤字比率→3年間赤字なし

一般会計に土地取得特別会計を加えた普通会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示すものです。
本市は両会計で黒字であるため、該当しません。



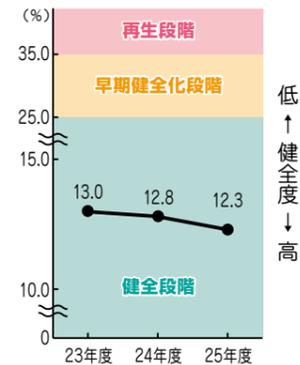
② 連結実質赤字比率→3年間赤字なし

市のすべての会計の赤字や黒字を合算し、市全体の財政運営の悪化の度合いを示すものです。
本市は全会計で黒字であるため、該当しません。



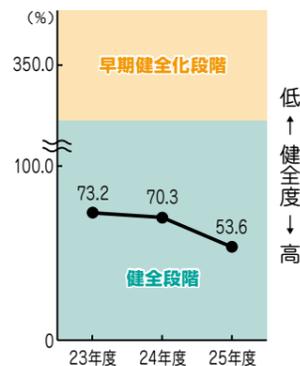
③ 実質公債費比率→0.5ポイント改善

借入金の返済にかかる負担の重さを示す指標で、市のすべての会計と一部事務組合（志太広域事務組合など）が対象範囲となります。
本市は、24年度（12.8%）と比較すると、**0.5ポイント改善**され、**12.3%**となりました。改善の主な要因は、水守土地区画整理の事業費の減などにより、都市計画税などの特定財源を借入金の返済に充当したためです。



④ 将来負担比率→16.7ポイント改善

市のすべての会計の借入金や将来払っていく可能性のある負担などを、現時点で指標化し、財政への圧迫度を表すものです。
本市は、24年度（70.3%）に比較すると、**16.7ポイント改善**され、**53.6%**となりました。改善の主な要因は、市債の残高が減少したことや財政調整基金の新規積立により、充当財源が増加したことが挙げられます。



⑤ 資金不足比率→3年間資金不足なし

公営企業会計と簡易水道・公共下水道・農業集落排水事業の3つの特別会計の資金不足額の事業規模に対する比率で、経営状況の悪化の度合いを示すものです。
本市は、**すべての会計で該当ありません。**

